

 <p>阿賀野市立京ヶ瀬中学校</p>	<p>〒959-2123 阿賀野市姥ヶ橋739 Tel. 0250-67-2004</p>

～<https://kyogase-jhs.edumap.jp/>～

## 伝えてきた言葉

卒業式が間近に迫ってきました。いよいよ旅立ちですね。そこで、私がこれまで教え子たちに（自分のことは棚に上げ）伝えてきた言葉を送ります。一つくらい、これから先の人生に役立つ言葉があるといいのですが。

- 人を応援できる人に。人から応援される人に。
- 頑張るときはいつも今。過去を後悔しても何も始まらない。
- やろうと思ったことは、やってみよう。
- 一生懸命はカッコイイ。
- 何事も一生懸命にやろう。一生懸命にやると苦しさが自然と消えていく。
- 本当の幸福とは、何かを一生懸命にやっている時に感じるものだ。
  
- 掃除に対して手を抜かずにできる人は、何をするにも間違いない。掃除に対して手を抜く人は、何をするにも手を抜く。
- 掃除は自分の心を磨くつもりで。必ず心が磨かれていく。
  
- 勉強なんてそんなに楽しいことばかりではない。苦しみながら、自分で工夫しながらするからおもしろいし、身に付く。
- 勉強は自分でやるべきもの。親や他人から、せかされてもできないものだ。
- 高校は勉強をしに行くところ。勉強する気のない人は高校なんて行くべきではない。中学を卒業したら職について稼ぐことだ。
- ひまがあったら勉強などできない。ひまを見つけてやる勉強こそ本当の勉強。
- 勉強は机上より足でやれ。
- 今勉強しているノートは30歳まで取っておこう。いつか必ず役に立つ時が来る。
  
- 成績より人柄だ。
- 美しい人とは、後ろ姿の美しい人のこと。それは心の美しさが背中に表れるからだ。
- 後ろ姿の美しい人は、悩みの少ない人。姿勢をよくすると悩みも消え、心の健康にも体の健康にもよい。
- やけにならずに我慢する。忍耐力の無い人間は味もないし、成功もしないだろう。
- 他人の嫌がることはしないこと。相手に悲しい思いをさせて満足なの？ 必ず自分に返ってくる。
- 弱い者をいじめるなんて最低の人間だ。
- 他人の立場になって物事を考えよう。視野が広がるし、いかに自分が小さい人間かということがわかる。
- メダカは大きくなってもメダカ。鯉にも鯛にもならない。だから、無理をせず、よりよい姿のメダカになろう。

- 1+1はいつも2とは限らない。時には、1にしかならぬし、5にも20にもなることがある。
- 人間、生きていく上で他人と付き合うことほど難しいことはない。だからって付き合うことを諦めたら成長はない。我以外皆我師だ。
- 他人を見抜ける眼力をもとう。そうすれば他人なんか怖くない。その眼力は他人を思いやる心と、精一杯の我慢することから身に付くものだ。
  
- 一生なんて短いものだ。だから1日1日を大切に生きよう。
- 明日の命を誰が保証できよう。今日1日の命と思えば、無駄にはできない。
  
- 遅刻する人、時間にルーズな人は思いやりのない人だ。絶対に信用されない。
- 忘れるときもあるさ、人間だもの。でも、忘れたら「すみません」の一言を忘れるな。

## 人を応援できる人

2月15日 バレーボール部は安田中学校と合同チームを組み、「下越地区中学校1年女子バレーボール大会」に出場しました。午前中は新発田第一中学校でリーグ戦。3勝1敗でリーグ2位。午後は他の3つのリーグで同じく2位だったチームが猿橋中に集まりリーグ戦。全勝で優勝しました。安田中も京ヶ瀬中も、お互いに声を掛け合い、どんな時も笑顔で、全力でプレーしたり、応援したりしていました。すばらしいチームワークでした。同じくらいすばらしいと思ったのは2年生。大会を支える補助役員として審判や得点係の仕事を着実にやるだけでなく、全力で後輩や安田中の生徒を応援している姿でした。「いけー」「ナイス」「大丈夫」「よーし」。大きな声を張り上げて本気で応援するのは、後輩たちのためにそこまで応援するなんて……。本当にすばらしいと思いました。



2月16日 2限 1年生 音楽 箏の演奏 3～4人のグループに分かれて、「さくら さくら」を一人一人順番に練習しました。その練習風景がとってもあたたかかったです。一人の演奏に対して、曲に合わせて一緒に歌を歌ったり、楽譜を読み合わせながらアドバイスしたり、チューニングを手伝ったり……。箏から奏でられるステキな音色だけでなく、ほんのりあたたかい空気が音楽室に広がっていました。



この2つの出来事だけでなく、どの教室に行っても、どの部活に行っても、人を応援する雰囲気がいま感じられます。これからも、がんばってる人を応援できる人、集団であってください。

## ありがとうございました

令和7年11月14日、京ヶ瀬中学校昭和56年卒業生の皆様からいただいた寄付金で(10万円)で、ランチルームの椅子を66脚購入させていただきました。かなり傷んでいたためです。令和8年度から大切に使用させていただきます。昭和56年卒業生の皆様、本当にありがとうございました。

